

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民農園に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	
政策	活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き環境整備に取り組み、利用者の利便性を向上させる。 3月末に廃止となった南初富市民農園の代替地を確保する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	空き区画の解消策、南初富市民農園の代替地の確保に加え、引き続き環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上を図る。
②①に基づく取組み結果	環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上に取り組んだ。 なお、南初富市民農園の代替地の確保には至らなかった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	野菜栽培を愛好する市民	意図(対象をどうするのか)	農業理解の契機とする。
②事務事業の概要	市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化が進む中で、農業と市民が触れ合う貴重な機会として需要があり、今後も継続して利用希望があると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	107区画中、96区画の農園貸付を行い、農業理解の契機とした。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で市民農園巡回指導の開催ができなかった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	市民農園の利用区画数	155	146	96	区画	業務取得
	ii	巡回時の農業士への相談件数	22	9	0	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	2,794	2,147	金額(千円)	内容		1,648	
国支出金(千円)			1,607	市民農園用地借上			
県支出金(千円)			450	工事請負費			
市債その他(千円)			90	委託料			
一般財源(千円)	2,794	2,147				1,648	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	未貸し出しの箇所があるため、次年度においては全区域の貸付を目指す。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	環境整備を行って利用者の利便性を高めていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	果樹剪定枝リサイクル事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	○
政策	活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	バイオマス発電の活用について引き続き精査し、事業の意向についても検討を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	糞尿吸着材としての活用について、引き続き精査・検討を行っていく。
②①に基づく取組み結果	糞尿吸着材としての活用へ事業の方針変更を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	果樹剪定枝等	意図(対象をどうするのか)	堆肥化・糞尿吸着材への活用
②事務事業の概要	果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とし堆肥を生産する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	バイオマス発電への活用を試みたところであるが、安定的なりサイクルの実現が困難であり、売電収入が見込めない状況にあったため、糞尿吸着材としての活用への方針変更を図った。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	令和元年度に回収した約264㎡の剪定枝を破碎し、糞尿吸着材への活用を試行実施した。また、新たに約227㎡の剪定枝量を回収した。一方で、販売許可を取得した堆肥を約7.0tを販売し、15,580円の販売収入を得た。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	梨剪定枝回収量	706	709	827.8	m3	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	10,535	10,553	金額(千円)	内容		9,753	
国支出金(千円)			1,553	果樹剪定枝等堆肥			
県支出金(千円)			9,000	果樹剪定枝等リサイクル			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	10,535	10,553				9,753	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	堆肥保管量が年々増加しているため、保管スペースの確保が必要。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	今後も引き続き精査・検証等を行い、剪定枝等リサイクル事業を推進する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	賃借料及び負担金	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	賃借料及び負担金を支出	10,569	10,569	当初	10,569	10,553	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			現年分
③達成状況	完了						
④未完了・非着手の理由		令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	インターネット梨販売事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	○
政策	活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	前年度の箱数の増加を踏まえて今年度も販売品種を増やし、販売箱数の増加を目指す。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	自走に向けて補助金が段階的に減少していくことから安定した販売方針を構築する必要がある。
②①に基づく取組み結果	販売箱数について、前年度より269箱増で完売した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全国の人	意図(対象をどうするのか)	梨の販売
②事務事業の概要	全国に販路拡大をし、梨のインターネット販売を行う梨農家に対して、補助金を交付する。またPR等を継続して行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	特に北海道への発送数が安定しており、令和2年度実績でも都道府県別1位で、全体の約13.4%を記録した。主な要因としては、北海道日本ハムファイターズ本拠地、日本梨の栽培がないことなどが考えられる。令和3年度からは、値引き分に係る補助金が打ち切りとなることから、今後は自走に向けた事業継続の確立を最終目標として、販売実績を見極めるなどして、安定運営のあり方について研究していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	梨のインターネット販売において、豊水・新高(5kg)、幸水・かおり・あきづき(3kg)を合わせて1,819箱販売した。周知、PR活動等については、県内外の鉄道駅へのポスター掲示、宿泊施設でのチラシの配架、沖縄県国頭村の道の駅との連携などの取り組みを行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	鎌ヶ谷産の梨のインターネット販売額	3240	4185	4911	千円	業務取得
	ii	認定農業者数	55	63	67	人	業務取得
	iii	新規就農者数	2	0	1	人	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	4,215	3,383	金額(千円)	内容		1,200	
国支出金(千円)	1,988		275	PRイベント業務委託			
県支出金(千円)			2,942	インターネット梨販売に係る補助金			
市債その他(千円)			166	需用費			
一般財源(千円)	2,227	3,383				1,200	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業者が自立して取り組むための体制を構築する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	令和3年度以降、事業者の自立を視野に、インターネット販売による販売品種等にかかる精査・検証を図る必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	補助金、ポスター作成等	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	補助金の交付、ポスター作成等	4,648	3,639	当初	4,648	3,383	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			
③達成状況	完了			補正	-1,009		現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			3,383
		令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	農業委員会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	1	
政策	活力ある産業を育成します	担当課室	農業委員会事務局			
施策	都市農業の育成	担当課室長				

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	7月に改選を迎えることから、新たな体制に向けた引継ぎの円滑化と速やかな業務認識の共有化に取り組む。	③令和3年度に取り組む改革・改善内容	農業委員と農地利用最適化推進委員が共同して取り組むことで、農地の利用最適化のさらなる推進を図る。
②①に基づく取り組み結果	令和2年度までの目標を定めた活動結果・検証評価の実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	農地法等に基づく業務を円滑に運営するための活動	意図(対象をどうするのか)	農業委員会事務の点検及び検証の実施
②事務事業の概要	農地法、農業経営基盤強化促進法、農業委員会に関する法律に基づく農業委員会業務を円滑に運営する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化に伴う農地の宅地化等により営農環境が悪化し、農業経営が厳しい状況の中、農業従事者の高齢化及び担い手不足により農地の遊休化が懸念される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	食糧自給率の向上のための優良農地の確保と有効利用、担い手の育成及び確保、農地利用集積の斡旋を行い、一団化した農地への誘導に努めた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	農業委員活動日数	419	352	485	日	活動記録簿
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	10,353	10,556	金額(千円)	内容		10,954	
国支出金(千円)			6,160	農業委員報酬			
県支出金(千円)	1,229	1,239	2,820	農地利用最適化推進委員報酬		1,229	
市債その他(千円)	357	355				483	
一般財源(千円)	8,767	8,962				9,242	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	農業委員及び農地利用最適化推進委員が、共通の認識を持ち、連携して取り組む必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					